

那賀町山のおもちゃ美術館

ネイチャーゲーム実践報告



徳島県シェアリングネイチャー協会
濱 和子（那賀町山のおもちゃ美術館学芸員）

～自己紹介～

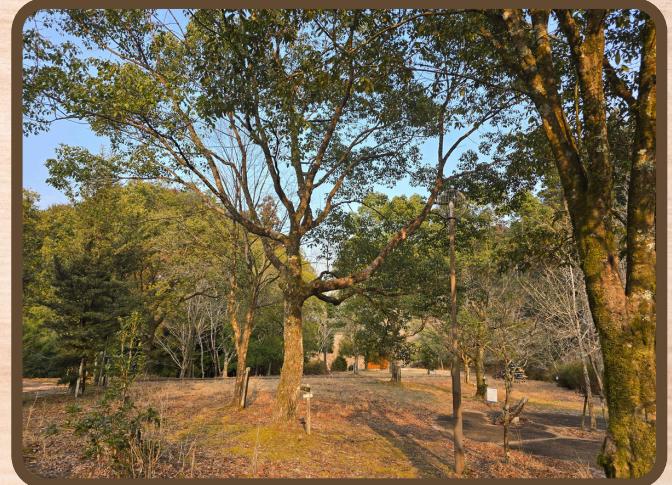
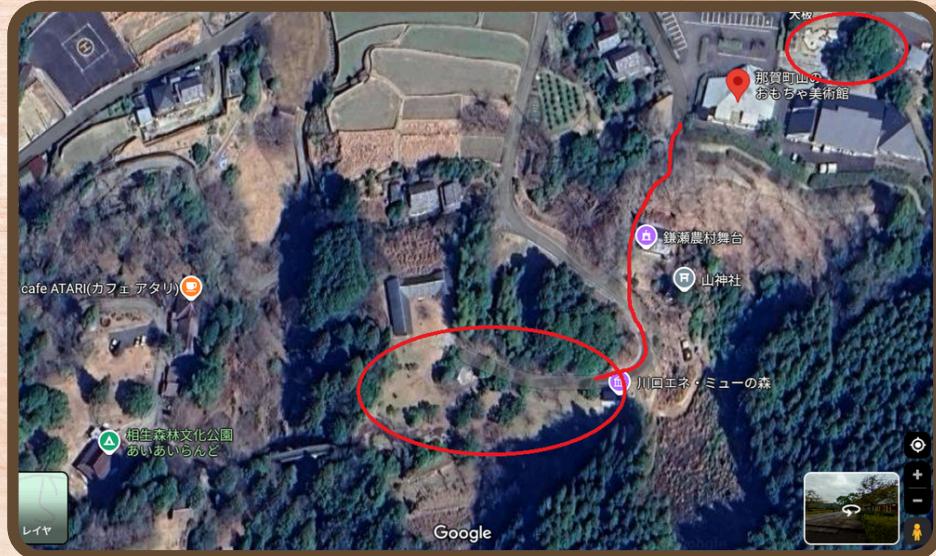
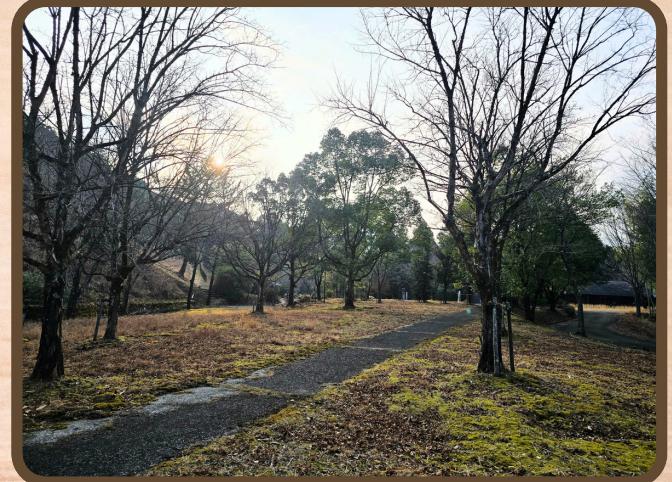
- ・2011年からネイチャーゲームリーダーとして活動しています。
- ・月2回の定例会と那賀町山のおもちゃ美術館でのワークショップでネイチャーゲームの実践をしています。
- ・木育に興味があり学芸員養成講座を受講し、徳島木のおもちゃ美術館と那賀町山のおもちゃ美術館でおもちゃ学芸員としても活動しています。
- ・2024年には木育インストラクター養成講座を受講しました。
※おもちゃ学芸員とは、おもちゃ美術館で来館者におもちゃの楽しさを伝え、人と人との繋がりを育む「遊びの案内人」です。

～立地とフィールド～

「相生森林美術館」と「相生森林文化公園あいあいランド」が隣接しています。

主におもちゃ美術館の裏手の「あいあいランド」がフィールドとなります。

周辺は自然が豊かで1年を通して楽しめます。



～経緯～

オープン当初からゆくゆくは「あいあいランド」も活用し外遊びも出来るようにしていきたいとお聞きしていましたので、いつかネイチャーゲームができたらと思い美術館サイドに発信し続けました。

スタートするにあたり”阿波南部シェアリングネイチャーの会”に協力を呼びかけ、リーダーに学芸員養成講座を受講してもらいました。

2024年9月からネイチャーゲームがワークショップとしてスタートしました。



2024年9月8日（日）

10:00～11:40

・テーマ 「木と友達になろう」

・ねらい 木に親しむ

・参加者 10名

〈でたぞでたぞ〉(FKY)

〈タッチタッチ〉(アイスブレイク)

〈フィールドビンゴ〉(木のカード)

〈森の福笑い〉



おもちゃ美術館のスタッフの方と相談して
木のネイチャーゲームでプログラムを組み
ました。

〈いねむりおじさん〉で予定していたので
すが、参加者のお子さんの年齢層が低かっ
た為 〈森の福笑い〉へ変更しました。

2024年11月23日(土)

13:00~15:00

- ・テーマ 「飛ぶ種で遊ぼう」
 - ・ねらい 種の移動方法を知る
 - ・参加者 10名
- 〈着せ替えおにぎりカード〉
〈ジャンケン落ち葉集め〉
〈落ち葉のステンドグラス〉
〈飛ぶ種で遊ぼう〉

2023年の秋には館内で「飛ぶ種で遊ぼう」のワークショップを開催しました。

2024年度はネイチャーゲームのプログラムに組み込み、外で楽しみました。

本物の種を飛ばした後、折り紙で種を作つて飛ばして遊びました。



～見直し～

●問題点＆改善点

- ・定員数に対し参加者の人数が少ない…ネイチャーゲームの認知度＆広報
⇒広報は各リーダーと美術館の協力でSNSや行事での声掛けを今後も継続して行う
- ・開催時間が長くないか…参加者はおもちゃ美術館に遊びに来ている
⇒開催時間を館内ワークショップに合わせ午前・午後の各回1時間×2回に変更
- ・参加費（1人200円）はどうか…入館料＋ワークショップ参加費
⇒時間を1時間にしたので参加費を1人100円に変更



2025年4月12日（土）

①11：00～12：00 ②13：30～14：30

- ・テーマ 「春の色探し」
- ・ねらい 自然を直接体験
- ・参加者 ①5名 ②5名

〈カモフラージュ〉

〈山菜探し〉（ゼンマイ・ワラビ）

〈森の色合わせ〉（折り紙バージョン）

カモフラージュで見つけられる目になります。

館内の収穫遊びの山菜（木のおもちゃ）を見せて、本物の山菜を探して収穫しました。

自分で好きな色を選んで探検ルーペを作り春の森の色を探しました。



2025年7月27日

①11:00~12:00 ②13:30~14:30

- ・テーマ 「葉っぱ」
- ・参加者 ①9名 ②14名
- ・ねらい 葉っぱの特徴に気付く
〈私は誰でしょう〉(葉っぱバージョン)
〈木の葉のカルタとり〉
〈葉っぱのフロッタージュ〉

熱中症の心配があるため館内で開催しました。

参加者に合わせて〈ノーズ〉から〈私は誰

でしょう〉に変更しました。

外へ出て葉っぱを拾ってフロッタージュで

ミニ絵本やミニ図鑑を作成しました。



～最後に～

今後も館内で木のおもちゃで遊んで木にふれてもらい、ネイチャーゲームで直接自然にふれてもらえる体験を提供していけたらと思っています。

おもちゃ美術館の来館者に、ネイチャーゲームの認知度が上がりネイチャーゲームファンが増え多くの人に外遊びを楽しんでもらいたいです。

ゆくゆくは学芸員やスタッフのみなさんに入門講座を開催しネイチャーゲームを知ってもらえたたらと思っています。

今後徳島木のおもちゃ美術館でも活動ができないか模索中です。

